

# 3章

## まちの取り組みと人生の 関わりがわかる地図帖

まちの施策や構想は、すべてのまちの人のよりよい生活と幸せを願ってつくられています。智頭町民を守り、より良い毎日を過ごしてもらうために、まちはいったいどんな施策や行政サービスを考えて、提供しているのでしょうか。第7次智頭町総合計画では、生まれてから最後の日まで、どの年代に関係するものなのか、各事業を関連付けて整理したライフイベントマップを作成しました。付録に添付している「総合計画ライフステージマップ」も合わせてご覧ください。



3歳

ちづ保育園園児

### 1 食育の推進

ちづ保育園では、野菜づくり体験や料理など、食に触れる取り組みを行っています。子どもたちが収穫した野菜をその場で味わったり、自分たちの給食で使ってもらったりしています。さらに、野菜の皮むきの手伝いや、調理前の魚を見せてもらうなど、食事や食育につながる体験も行っています。



本阪収志さん



8歳

智頭小学校児童

### 2 学校と家庭の連携による 良好な生活習慣の定着

「PTAの保体部の活動について話し合っていたとき、子どもたちに正しい歯磨きを教える機会が意外に少ないのではと思いついたことが始まりでした」と言うのは本阪収志さん。磨き残しがあると赤くなる液体を使って、子どもたちが歯の磨き方を自ら見直すきっかけづくりをしました。まちでは、学校教育の施策として、家庭と地域の力を引き出し生活習慣の充実を図る取り組みを、PTAなどと協働して進めています。



私も参加しています！  
河村朝陽さん・米本晃規さん

智頭中学校に通う、保健体育委員長の米本晃規さんと生活委員長の河村朝陽さん。保健体育委員会では、毎日の睡眠時間や歯磨きのチェックを行い、健康な生活を送るための意識づけをしています。また、よい姿勢に心がけ授業に集中できるよう、授業の前に立腰りつようの声かけをしています。生活委員会では、挨拶運動や身だしなみのチェック、2分前行動を促す働きかけを行い、規則正しい学校生活が送れるようにサポートしています。

### 5 商店街との協働・連携による活性化

「地元に残りたい、そして友人が智頭に帰ってきたときに寄れる場所をつくりたい」という思いから、夢屋で働く決意をした波多なぎささん。様々なイベントに、時間が許す限り出店しています。お客さんからは、ほしいパンをリクエストされることもあり、そういったことにも応えながら、気軽に寄ってもらえるお店にしていきたいと思っているそうです。



24歳

波多なぎささん



19歳

河村太陽さん



### 4 消防団活性化対策

「しっかり引き継いでいきたい。俺たちがやるしかないんですから」と、消防団活動の継承について力強く話してくれた河村太陽さん。安心して暮らしていくために、自分たちでできることに一生懸命に取り組む姿勢は頼もしいばかり。そして、訓練のあとに必ず開催される交流会にも積極的に参加しています。地域の多世代の人たちと繋がりながら、消防団員の確保や活動しやすい環境づくりを進め、消防・防災の施策の一翼を担っています。



竹内康和さん



### 3 地域の良さと歴史文化など 郷土も大切に学習の導人

「枝打ち体験の後、山が綺麗になった様子を見て、子どもたちが感動してくれることが何よりうれしい」と話す竹内康和さん。15年前から子どもたちに山に親んでもらうために、枝打ち体験などの林業学習の取り組みを続けています。子どもたちだけでなくその両親にも山を知ってもらいたいと、漫画でわかりやすく解説された林業副読本の制作も行い、様々な方法で郷土を大切にすることを伝えています。



11歳

藤井奈緒さん  
西尾美紅さん

0歳 10歳 20歳 30歳

赤ちゃんがすくすく育つように

子どもたちの心も身体も健やかに ①

子どもたちが充実した学校生活を送るために ②

生きる力を育むために

郷土愛を育てられるように ③

森林林業を学べるように

子どもを産むなら / 安心して子育てするなら

移住・定住するなら

チャレンジするなら ⑤

農林業をはじめると

地域の助け合いを支えるために ④